



2016年4月号 (vol.25)

ひぐちん通信

日口鋼管株式会社 〒547-0001 大阪市平野区加美北 4-6-21

Tel:06-6791-7788 fax:06-6791-8588 携帯:090-3659-2743 代表取締役 樋口浩邦

◆「熱っ！！あ—————！！」◆

こんにちは、お世話になっております。日口鋼管代表の樋口です。ひぐちん通信第25号をお送りいたします。よろしく願いいたします。

さて、先日、私は生まれて初めての“お灸”をしてもらいに行って来ました。1年以上前から、右肩の間接が四十肩なのか五十肩なのかわかりませんが、とても痛く、ずっと治らない状態が続いていました…。

ある日、お得意先のとある社長さんから、京都でその施術が代々受け継がれているお灸専門の“おぐりす灸”さんというところをご紹介いただきました。

ただ、私の中では、お灸というと粘土のようなものを背中に乗せて、その上に火を付け、長時間その熱さに耐えないといけないというイメージがあり、なかなか踏み切りがつきませんでした…。ただ、一向に治らず、紹介していただいてから半年経ってようやく、勇気を鼓して行ってきました。

おぐりす灸さんは、おばちゃんが一人でやっていました。私は右肩の症状を伝え、さっそくお灸をすることになったのですが、それはイメージしていた粘土ではなく“もぐさ”でした。白い紙で巻かれているもぐさタバコをパチンパチンと1センチくらいに切ったようなもので、その直径は1～1.5センチくらいでした。

私は座った状態で待機。右肩の後ろに霧吹きでシュッシュと水を吹きかけ、ツボ2箇所にもぐさをピタッとくっつけます。そして、シュッと火がつけられました。ジリジリジリジリともぐさが焼けていき、だんだん熱くなっていきます。そして、「きたきたきたきた、うっ！熱っ！！あ—————！！」と、かなり熱かったのですが、歯を食いしばっての我慢は、ほんの5秒程度。お灸は合計15秒程度で終了しました。

そして、火傷をした傷口に軟膏を塗った3センチ四方くらいの薄い紙を貼り付け、上からサージカルテープでとめて終了。これから3週間は毎日それを貼り替え、傷口から膿が出なくなるまで続けるように言われました。3カ月もしたら傷も癒えるとのことで、現在様子を見ているところです。結果が出次第、またご報告させていただきます！



◆そこか情報◆

(そ・即納・こ・小口対応・か・加工) 当社の改善の取り組みをご紹介します。



①ショート2トン車(高床)を予備で1台増やしました。クレーム対応のときなどに営業がこれに乗って出動しています(苦笑)



②バフ機を1台設置しました。



③工場2階からまとめて荷下ろしする大型パレットを製作しました。



④アングルベンダーで曲げた製品が倒れないように引っ掛けを付けました。

◆発行者コラム◆

前回も少し書かせていただきましたが、当社HPの“新着情報”のところから“ネクタイ留め”のご案内ページをご覧になっていただくことができます。また、この“ひぐちん通信”のバックナンバー(過去号)もHPからご覧いただけますので、ご興味のある方はインターネットで **日口鋼管** と検索してみてください！ 樋口



【発行者プロフィール】

名前: 樋口浩邦(ひぐちひろくに) Eメール: hirokunister@gmail.com

誕生日: 昭和41年3月16日 出身地: 大阪市東住吉区

経歴: 関西大学卒業後、弊社の主要仕入先である丸一鋼販(株)に入社。名古屋営業所で5年間お世話になった後、当社に入社。平成13年7月に代表取締役就任、現在にいたる。

趣味: 映画鑑賞 モットー: 『大丈夫! なんとかなる(´▽`)』

